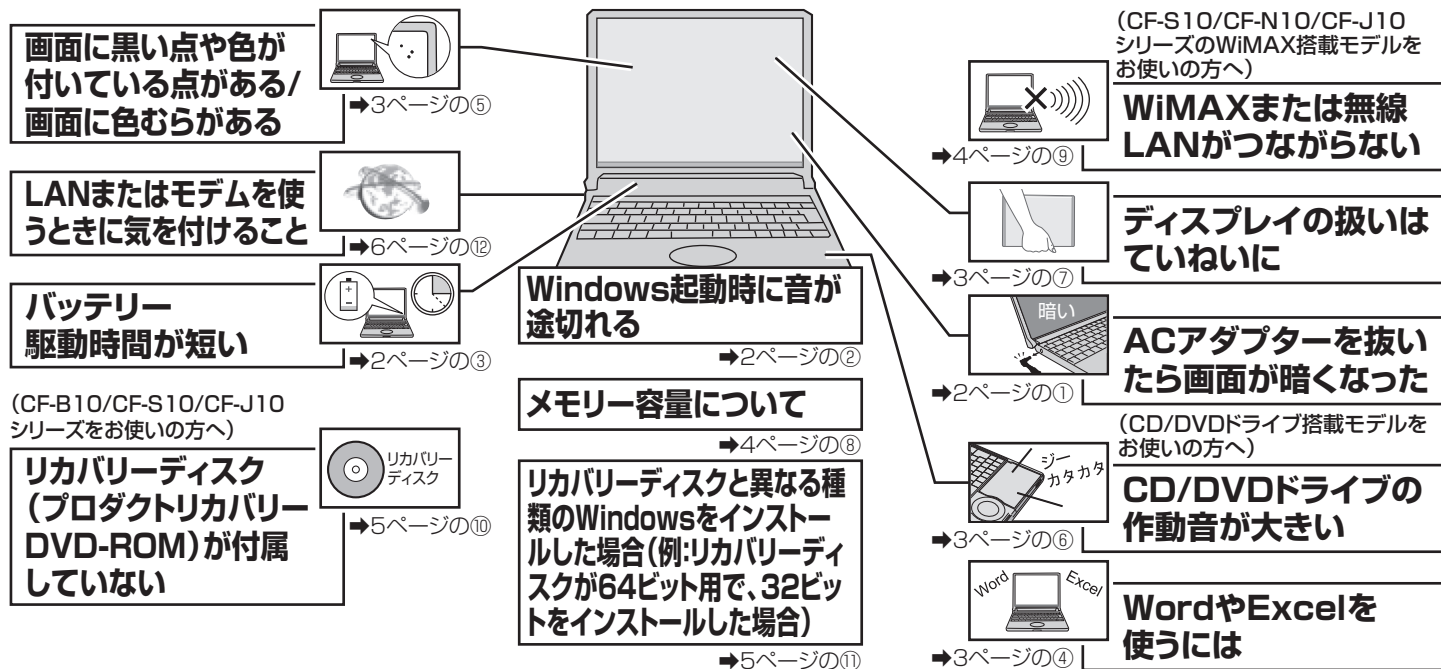
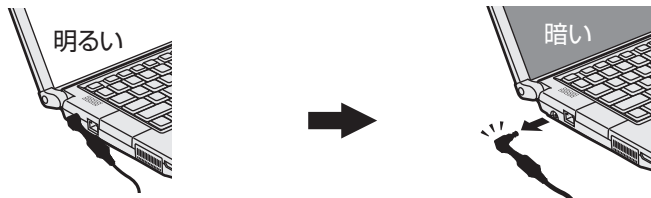
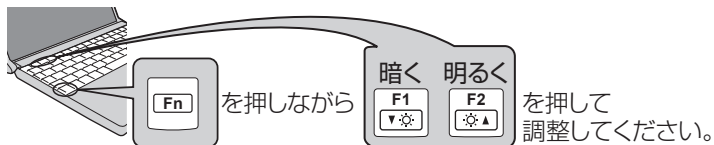
品番　CF-B10/CF-S10/CF-N10/CF-J10シリーズ
（Windows 7）

必ずお読みください

本書は、レッツノートを安全にお使いいただくために特に注意していただきたい点と、「よくある質問」について説明します。
『取扱説明書 基本ガイド』の「安全上のご注意」と合わせて、必ずご使用前にお読みいただき、安全にお使いください。

DFQW1340ZA　SS0411-0

Printed in Japan

①ACアダプターを抜いたら画面が暗くなった

（CF-B10シリーズのイラストです。モデルによって、電源端子の位置が異なります）

これは故障ではありません。
明るくするには、

ただし、明るくするとバッテリーの駆動時間は短くなります。
詳しくは、『取扱説明書 基本ガイド』の「画面の明るさを調整する」をご覧ください。

②Windows起動時に音が途切れる

Windowsの処理状況によっては、Windows起動時に音が途切れる場合があります。次の手順で起動時の音が鳴らないように設定することができます。

① デスクトップで右クリックし、[個人設定]をクリックします。
② [サウンド]をクリックし、[Windows スタートアップのサウンドを再生する]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックします。

③バッテリー駆動時間が短い

バッテリーの駆動時間は、使い方や使用環境によって大きく変わります。
（例えば、画面を明るくして使っているときは短くなります）
・電源プランを[パナソニックの電源管理（省電力）]に設定する。
・画面を暗くする。
・起動しているソフトを閉じる。
・バッテリーのエコノミーモード(ECO)を無効にする。
などの方法で、より長く使用することができます。

● 駆動時間の測定方法
バッテリーの駆動時間は、他のメーカーとの比較のために共通の測定法として社団法人 電子情報技術産業協会の「JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」を採用しています。測定された数値は、次の2つの方法でバッテリーが動作する時間を測定し、その平均をとった値です。
・負荷をかけた状態での測定方法（測定法a）
内部LCDの輝度（明るさ）を20cd/m^2に設定し、指定の動画ファイル（MPEG1形式）をハードディスクから読み出しながら再生し続ける。
・負荷をかけない状態での測定方法（測定法b）
内部LCDの輝度を最も暗い状態に設定し、デスクトップ画面を表示したまま放置する。

20cd/m^2の設定方法および輝度を最も暗くする方法：
『取扱説明書 基本ガイド』の「バッテリーについて」をご覧ください。

JEITA測定法は画面を暗くするなど消費電力を抑えた状態で測定しているため、画面を明るくして使っていたり、アプリケーションソフトをたくさん起動していたりすると、駆動時間はJEITA測定法の値よりも短くなります。

詳しくは、『操作マニュアル』「（バッテリー）」およびJEITAのWebサイト（http://it.jeita.or.jp/mobile/）をご覧ください。

④WordやExcelを使うには

Microsoft® Officeインストール済みモデル以外をお使いの場合、Microsoft® Officeのパッケージなどを別途購入していただく必要があります。

⑤画面に黒い点や色が付いている点がある/画面に色むらがある

● 本機に搭載のカラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤、青、緑色）するものがあります。（有効画素：99.998%以上、画素欠けなど：0.002%以下）
● 液晶ディスプレイの構造上の特性により、見る角度によって色や明るさにむらが見える場合があります。また、画面の色合いは製品によって異なる場合があります。

これらは故障ではありません。

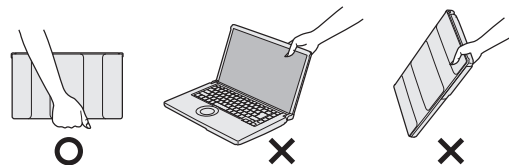
CD/DVDドライブ搭載モデルをお使いの方へ ⑥CD/DVDドライブの作動音が大きい

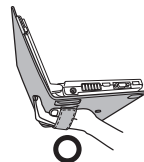
これは故障ではありません。
内蔵CD/DVDドライブの電源を入れた直後、またはセットアップユーティリティの[光学ドライブ電源]が[オン]の状態で本体の電源を入れた直後、CD/DVDドライブから音がします。これはCD/DVDドライブのモーターなどが作動した音で、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

詳しくは、『困ったときのQ&A』「画像/動画/サウンド」の「CD/DVDドライブの振動や作動音が大きい」をご覧ください。

⑦ディスプレイの扱いはていねいに

ディスプレイの取り扱いには十分注意してください。

CF-B10/CF-S10/CF-N10/CF-J10シリーズの場合

（CF-B10シリーズのイラストです）

● 持ち運ぶ際は、ディスプレイやディスプレイ周りのキャビネット部を持たないでください。
● CF-J10シリーズでジャケットを取り付けてお使いの場合は、ジャケットとハンドストラップの間に手を入れて持つことができます。

⑧ メモリー容量について

RAMモジュールの交換・取り付けの際は、推奨のRAMモジュールをお使いください。

● 推奨のRAMモジュール
パナソニック製　CF-BAD02GU（2GB）
　　　　　　　　CF-BAD04GU（4GB）

● RAMモジュールの取り付け/取り外し
『取扱説明書 基本ガイド』または『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「メモリー容量を増やす」をご覧ください。

● メモリー容量および拡張メモリースロットの仕様
『取扱説明書 基本ガイド』などの「仕様」をご覧ください。

● 交換または増設後、電源が入らない場合
RAMモジュールを取り外して再度電源を入れてください。
RAMモジュールを外すと電源が入る場合は、RAMモジュールの問題が考えられます。本機の電源を切り、推奨のRAMモジュールであることを確認し、正しく取り付け直してください。

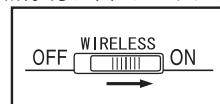
CF-S10/CF-N10/CF-J10シリーズのWiMAX搭載モデルをお使いの方へ

⑨ WiMAXまたは無線LANがつながらない

WiMAXと無線LANは同じ通信モジュールを使用しているため、同時に使うことはできません。
WiMAXをオンにすると無線LANは自動的にオフになり、無線LANをオンにするとWiMAXは自動的にオフになります。
WiMAXまたは無線LANを使うときは、次のことを確認してください。

● 本体前面の無線切り替えスイッチがON側（右側）にあること

無線切り替えスイッチ

OFF　WIRELESS　ON

● お使いになる無線機能が無線切り替えユーティリティでオンになっていること
確認方法：
① 画面右下の通知領域のをクリックします。
② またはをクリックします。
③ お使いになる無線機能（[無線LAN オン]または[WiMAX オン]）をクリックしてチェックマークを付けます。
チェックマークが付いている場合はすでにオンになっています。再度クリックする必要はありません。

無線LANとWiMAXを同時にオンにすることはできません（同時に使うことはできません）。

CF-B10/CF-S10/CF-J10シリーズをお使いの方へ

⑩ リカバリーディスク（プロダクトリカバリー DVD-ROM）が付属していない

CF-B10/CF-S10シリーズの場合

・品番の末尾がRまたはPをお使いのお客さまは、リカバリーディスク（プロダクトリカバリー DVD-ROM）が付属していません。

CF-J10シリーズの場合

・品番の末尾がRをお使いのお客さまは、リカバリーディスク（プロダクトリカバリー DVD-ROM）が付属していません。

上記以外のモデルをお使いの場合

お使いのモデルに付属しているかどうかは、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「1 付属品の確認」で確認してください。

品番は、パソコン底面のPanasonicロゴの近くに記載されています（例：CF-B10CWADR）。
⬆この末尾を確認してください。

リカバリーディスク（プロダクトリカバリー DVD-ROM）が付属していない場合でも、ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って、ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
また、リカバリーディスク作成ユーティリティがインストールされていますので、Windowsのセットアップ終了後、必要に応じてリカバリーディスクを作成することができます。

CF-B10/CF-S10シリーズの場合

内蔵のCD/DVDドライブでリカバリーディスクを作成することができます。

CF-J10シリーズの場合

外付けDVDドライブ（別売り）を準備してください。リカバリーディスクを作成することができます。

- **リカバリーディスクの作成に必要なディスクの種類や枚数、作成方法については、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。**
- **作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。**

⑪ リカバリーディスクと異なる種類のWindowsをインストールした場合（例：リカバリーディスクが64ビット用で、32ビットをインストールした場合）

必ず、システム修復ディスクを作成してください。

リカバリーディスクと異なる種類のWindowsをインストールしていると、リカバリーディスクを使って「システム回復オプション」※1を表示することができません。表示するには、システム修復ディスクが必要になります。

・システム修復ディスクの作成方法については、『取扱説明書 基本ガイド』の「再インストールする」をご覧ください。
・システム修復ディスクを使って「システム回復オプション」※1を表示する方法は、『取扱説明書 基本ガイド』の「ハードディスクを復元する」をご覧ください。
・リカバリーディスクと同じ種類のWindowsをインストールした場合は、システム修復ディスクを作成する必要はありません。

※1 システム回復オプションには、Windowsが正常に起動しなくなった場合に、システムファイルの修復などを行って起動できるようにする機能が集まっています。

⑫LANまたはモデムを使うときに気を付けること

⚠注意

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

禁止

LANコネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T以外のネットワーク
- 電話回線（IP電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話など）

モデムは、一般電話回線で使用する（モデム搭載モデルのみ）

会社、事務所などの内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話に接続したり、本機で対応していない国や地域※2で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

・電話回線について詳しくは、電話会社または電話回線の管理者にお問い合わせください。

※2 モデムが対応している国や地域については、モデム搭載モデルの仕様をご覧ください。